

A C E 同 窓 会 会 報

発行所
愛知工業大学情報電子専門学校同窓会
豊田市陣中町1-21-1
TEL (0565) 32-8181

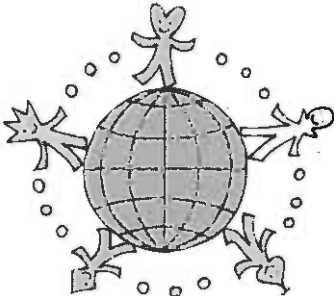
会長挨拶



会 長
市 川 佳 希

日本含め各国では情勢の變化・環境の変化が刻一刻と怒涛の如く移り変わっておりま
す。みなさんの記憶にも刻ま
れているかとは思いますが、
東日本大震災の爪跡は、いま
だ東北地方の方々に深く深く
残っています。しかし、一日
でも一秒でも早く復興して、
いつもの生活を取り戻すべく
世界各国が支援し、日本も復
興を目指し、毎日懸命にあき
らめず歩んでいます。
今まさに同窓会の皆さんも
行き先が不透明な環境の中で、
日々仕事や生活をしていると
思いますが、「後ろ向き」に歩
みを進めるのではなく、「ポジ
ティブ」に前に向かって歩み
を進めて頂きたいと思いま
す。その為には、自分自身が置か
れている状況・立場を十二分
に理解し、自分に何ができる

かを考え、自分に自信を持つ
て「諦めず」すすめば必ず道
は開かれると信じています。
人間諦めたらその時点で成
長も意気込みも止まります。
やり遂げて達成感を持つてそ
の経験を元に更なる「一歩」
を、そして昨日よりも良い明
日、明日より良い明後日を目
指し共に進んで生きましよう。
同窓生諸氏の一層の活躍を
祈っております。



校長ご挨拶



校 長
井 研 治

愛知工業大学情報電子専門
学校同窓会会員の皆さま、は
じめまして。この四月より校
長を仰せつかりました井(い
のもと)です。
さて、三月には白岩前校長
のもと、豊田市産業部をはじ
め、各界の来賓を迎え、本学
学園関係者、ならびに卒業生
保護者の臨席のもと、平成二
十二年度の卒業式を挙行し、
四十六名の卒業生を送り出
しました。同窓会の皆さまには
新しい同窓生会員をよろしく
お願いいたします。
また、四月八日には、過去の
皆さんと同様、期待に胸を膨ら
ませた八十五名の新入生を迎え、
第二十回の入学式を挙行いたし
ました。本校教職員の皆さまの
涙ぐましい努力のおかげで、入
学者も増加しております。同窓
生の皆さまにおかれましても、

身近な中学生、高校生には、是非、本校のよさを大いに売り込んでいただき、体験入学等の機会には是非本校へ案内してくださるよう、学生募集にご協力賜りますようお願い申し上げます。

卒業生の人数も確実に増え続け、同窓生諸君の横のつながりはもちろん、先輩後輩達との縦のつながりを強固にしていただくことで、同窓生のネットワークをより強固にするため、下さるよう、お願いいたします。

ところで、小生は四月一日から新校長として着任いたしました。本務は愛知工業大学の工学部電子情報にあり、専門は音響工学で、現在は四年生の学生や大学院生には音楽CDの信号分析を行わせており、至つて無趣味な六十六歳の男です。コンピュータのつきあいは、その黎明期からありましたが、周辺機器は自作、プログラミングは機械語を十六進でスイッチ入力、デバッグは徹夜に続く徹夜……、という過酷な時代でした。今は視力も気力も衰え、コンピュータに接することはずいぶん億劫になってきました。回路やコンピュータに接することができるとは、会員皆さまが実感されているように、若さが売り物です。皆さまにおかれては、若い力でそれぞれの分野でますます活躍されんことを期待し、皆さまに続く後輩達をよろしくお願ひいたします。

退任の挨拶



前校長
白 岩 義 夫

この春をもって九年間の本
専門学校校長を退任すること
になりました。多くの同窓
生、在學生、教職員に支えて
いただき無事職責を果たせた
ことに感謝致します。

就任当時のわが国の経済状
況は必ずしも良くなく、社会
の一般的な就職率は低迷して
いました。しかし、一昨年の
リーマン・ショックなど一時
的な例外はありましたが、諸
先輩の職場で頑張りとして在
校生の学習や各種資格の取得など
の成果が生かされた本校の高
就職率が印象的でした。わが
校のこの高就職率を認識し、
本校を目指す学生が一人でも
増えることを願っています。

A C E は来年初立二十周年
を迎えます。同時に、本校の
後盾である名古屋電気学園の
創立百周年の年にも当たりま
す。夫々の記念行事には皆様
お誘い合わせの上、ぜひご参
加下さい。お待ちしております。
同窓生諸氏の一層の活躍と
ご多幸を祈っています。



平成二十三年同窓会役員

平成二十二年六月二十三日
に同窓会総会が開催され二十
三年度の役員が承認されまし
た。

- 平成二十三年同窓会役員
- 会長 市川 佳希
- 副会長 山崎 裕之
- 太田 敦
- 増田 誠治
- 栗本 武司
- 高木 幹大
- 高野 博徳
- 川北 洋一
- 力久 誠太郎
- 杉浦 史竜
- 山口 正巳
- 渥美 雄大
- 森島 茂樹
- 橋本 秀則
- 相談役
- 顧問

学園百周年事業への ご協力をお願い

本学の母体である名古屋電
気学園が来年初、創立百周年
を迎えるにあたり、記念事業
の一部に充てるための募金を
実施しております。
既に学園事務局より募金の
お願いが、ご自宅に届いてい
るかと思いますが、同窓会か
らもう重ねてご協力をお願い
致します。



学科だより

高度情報処理学科 教授 山田 一敏

東日本大震災による被害に苦しむ被災者の方々に、皆様のお力をお貸ししたいと思います。...

三つ目はゆとり教育の弊害です。今年度の就職活動から、多くの学生が就職先を悩んでいます。...

情報工学科

森島 茂樹

卒業生の皆さん、元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。今年度の就職活動は、大変な状況の中、多くの卒業生が就職先を確保しました。...

電子制御学科

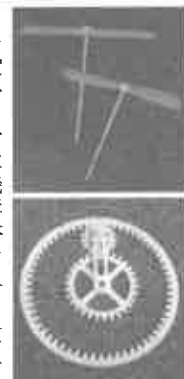
掛布 英辰

卒業生の皆さん、お元気ですか。電子制御学科の近況をお知らせします。今年度は、卒業生が就職先を確保し、活躍しています。...

CAD・CAM学科

教授 橋本 秀則

卒業生のみなさん、お久しぶりです。CAD・CAM学科の近況をお知らせします。今年度は、卒業生が就職先を確保し、活躍しています。...



増加している分野は、IT関連の分野です。卒業生が就職先を確保し、活躍しています。今年度は、卒業生が就職先を確保し、活躍しています。...

卒業生のみなさん、お元気ですか。電子制御学科の近況をお知らせします。今年度は、卒業生が就職先を確保し、活躍しています。...

就職・編入状況

平成三年三月に卒業した学生は四六人、その内、就職希望は四三人、編入希望は三人でした。求人をしていない企業が減っていることに加えて、インターネットのみで求人する企業が増えたこともあり、求人数は三六六人、求人倍率は八、五倍で昨年以上に厳しい環境になりました。このような状況での就職活動でしたが、学生、担任の先生方の頑張りにより内定率は九三%と昨年よりは高くなりました。しかし、専門職に就けない学生も二五%と非常に厳しい結果になりました。特に情報系の学科は名古屋地区のソフト会社の求人が少なくなつたこと、情報系の大学生が増えたことなど苦戦を強いられました。そこでOBの皆さんから事に働きかけて頂き、ACE特別の求人をご頂けるようお願いいたします。大学への編入学は、希望者全員が合格することができました。次頁に就職・進学先を掲載します。



H22年度卒業生の主な進路

Table with 3 columns: 高度情報処理科, 情報工学科, CAD・CAM学科. Lists various companies and institutions where graduates went.



Table with 3 columns: 資格名, 資格, 資格名. Lists various certifications and their corresponding exam names.

Table with 4 columns and 2 rows showing practical training room usage (2階実習室見取り図) for various subjects and years.

実践的授業の増加に対応するため、203教室の分割工事をを行い、最新コンピュータを配備しました。各実習室の主なアプリケーションは左図の通りです。

トピックス

実習室が増えました

平成二十二年 卒業式

平成二十三年三月十六日に本校において行われ四十六名が卒業しました。四月からは新しい環境で仕事に、または勉学に励んでもらいたいものです。

また毎年同窓会より贈っております同窓会長賞は、CAD・CAM学科の近藤大輝君が受賞し、市川会長から賞状と記念品が授与されました。なお、学科別の卒業生数は、次の通りです。

- 高度情報処理学科 十四名
- 情報工学科 十五名
- 電子制御学科 五名
- CAD・CAM学科 十二名



近藤大輝君に同窓会長賞を贈る市川会長

平成二十三年 入学式

平成二十三年四月八日に行われ八十五名が入学しました。新入生の皆さんには新しい環境のもと、自身の目標に向かってがんばって欲しいものです。なお、学科別の入学者数は次の通りです。

- 高度情報処理学科 二十九名
- 情報工学科 二十三名
- 電子制御学科 十一名
- CAD・CAM学科 二十二名



新入生の誓いをする市川直明君

新任あいさつ

石の上にも三年

参事 酒井 保

この四月より、参事としてACEに赴任しました。どうぞ宜しくお願ひいたします。

さて、「石の上にも三年」というよく知られた諺があります。冷たい石の上にも、三年座り続ければ暖まる。つらくても我慢し続ければ、必ず成功する。しんぼう強く根気強く勤めることが大切である。という意味です。

最近の若者は我慢する力が足りないと言われます。事実かどうか分かりませんが、高等学校を卒業して就職しても、三年後には、その半分がそこをやめているとも言われています。

ACEを卒業し、社会へと羽ばたいていった同窓生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。きつとほとんどの皆さんが、本校で学んだ成果や技術を発揮し、それぞれの職場でやりがいを感じながら、ご活躍のことと思います。

ところが中には、仕事の内容が自分に合っていないとか、人間関係がうまくいっていないとか、何か悩みを持っている人もおられるかもしれません。でも、職場についてよく理解でき、仕事がおもしろくなったりするのには、やはり三年間ぐらいの期間が必要だと思います。あわてず、あせらず、「石の上にも三年」なのです。皆様の活躍を願っています。

退任あいさつ

人間万事塞翁が馬

元事務局長 加藤 真澄

平成十八年度からACEに五年間勤務し、このたび退職となりました。お世話になりました。

学校を卒業後、私の四十三年間の仕事や勤務を振り返った時、頭に浮かぶのは「人間万事塞翁が馬」という言葉です。知ってみえると思いますが、これは、昔、中国の地方の要塞近くに住むお爺さんの話です。《飼っていた馬が逃げて行方不明になり落胆していると、すばらしい名馬を伴って帰ってきました。馬が逃げたという不幸が、名馬を手に入れるという幸福につながったのです。ところが、お爺さんの子供がその名馬に乗っていて落ち、足の骨を折ってピッコとなってしまうました。名馬を手に入れた幸福が、子供のピッコという不幸の国と戦争になりました。村の若者は兵隊として出かけ、みんな死んでしまいました。ところが、お爺さんの子供は足が悪いため兵隊には行けず、ずっとお爺さんと平和に暮らしました。ピッコという不幸が平和に暮らす幸福となったのです》

私もそうでしたが、皆さんもきっと、仕事や生活をしていく上で、苦しいことや悲しいこと、あるいは不幸に感じる時があるでしょう。でも落ち込んでいることはないのです。どうしようもない困難と思われることも、やがて何とかなってしまいうものなのです。皆さんのご多幸を祈念します。

平成二十三年 常勤職員

校長 事務部

- 井 研治
- 池山 久美子
- 酒井 保
- 兼子 聡
- 浜野 由佳
- 栗本 武司
- 島 悦郎
- 山田 一敏
- 村瀬 正敬
- 中山 貴子
- 森島 茂樹
- 河合 英忍
- 掛布 英辰
- 田中 正史
- 山内 康義
- 橋本 秀則

同窓会へのご意見ご希望はこちら dousou@ace.aitech.ac.jp

学校ホームページはこちら <http://www.aitech.ac.jp/ace>



たまには見てね!